

乾田直播栽培の乾田期間における除草体系

福島県農業試験場相馬支場・平成6～10年度春夏作試験成績概要

1 部門名 水稲－水稲－雑草防除・水稲直播 01－01－20750000

2 要 旨

乾田直播栽培の乾田期間の効率的、効果的な除草体系を検討した。

(1)基本体系(土壌処理剤＋茎葉処理剤)

基盤整備直後など雑草発生量が予想しにくい圃場や、前年休耕などで明らかに雑草発生量が多いと予想される圃場。土壌処理剤により雑草発生量を減らすことが可能。

(2)応用体系(茎葉処理剤2回)

播種後に、出芽促進を目的として積極的な入排水を行い乾田期間を短縮できる。播種後の土壌処理剤散布が困難な場合。

(3)低コスト体系(茎葉処理剤1回)

ノビエ2葉期の雑草発生量が概ね300本/㎡以下の場合。

(4)ビスピリバックナトリウム塩液剤は、イネの薬害軽減のため10～15ml/a処理とする。

表 乾田直播の乾田期間における除草体系

体系	雑草発生前 (播種直後)	ノビエ2.0～2.5葉期 (イネ出芽期)	ノビエ4.5～5.0葉期 (入水期直前)
1 基本	ベンチオカーブ・プロメトリン乳剤	DCPA乳剤	シハロホップブチルEW＊1 シハロホップブチル・ベンタゾン ME液剤 ビスピリバックナトリウム塩液剤＊2
2 応用			シハロホップブチルEW＊1 シハロホップブチル・ベンタゾン ME液剤 ビスピリバックナトリウム塩液剤＊2
3 低コスト			ビスピリバックナトリウム塩液剤＊2

＊1:対象雑草がノビエのみの場合

＊2:有効成分2.0%剤